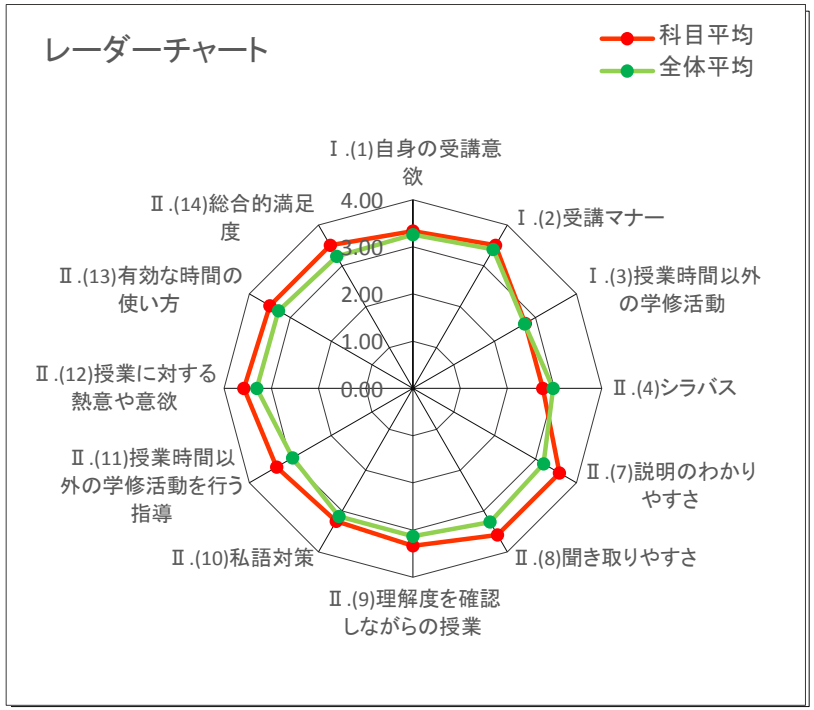
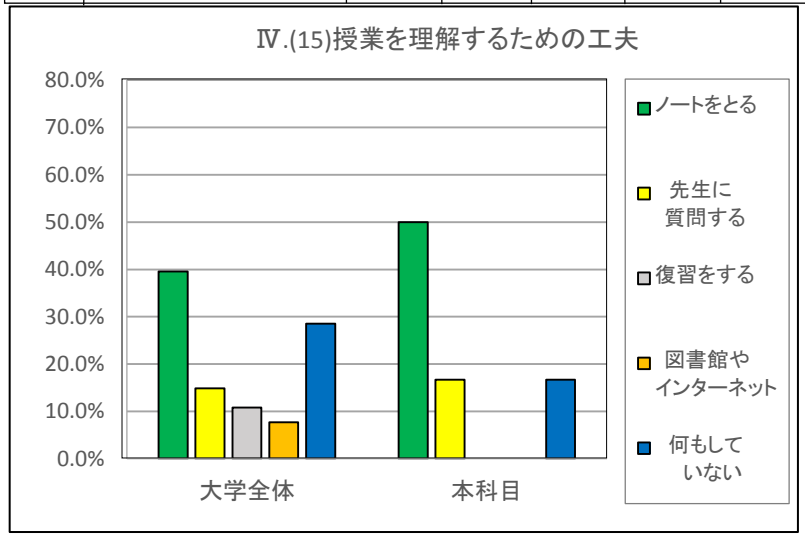
講義科目　授業アンケート結果



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	Ⅰ.(1)	3.33	3.26
	Ⅰ.(2)	3.50	3.40
	Ⅰ.(3)	2.75	2.73
講義内容・方法	Ⅱ.(4)	2.75	2.97
	Ⅱ.(5)		
	Ⅱ.(6)		
	Ⅱ.(7)	3.58	3.20
	Ⅱ.(8)	3.58	3.27
	Ⅱ.(9)	3.33	3.13
	Ⅱ.(10)	3.25	3.13
	Ⅱ.(11)	3.33	2.94
	Ⅱ.(12)	3.58	3.31
	Ⅱ.(13)	3.50	3.29
満足度	Ⅱ.(14)	3.50	3.23

※レーダーチャートの平均は4段階評価　4(そう思う)、3(ややそう思う)、2,（あまりそう思わない）、1（そう思わない）

〈※複数選択可項目〉		ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
Ⅳ.(15)	授業を理解するための工夫	50.0%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%



	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢 Ⅰ.(1)～(3)	3.19	3.13
講義内容・方法 Ⅱ.(4)～(13)	3.36	3.15
総合的満足度 Ⅲ.(14)	3.50	3.23

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2014年度　前期
時間割番号	24310
科目名	消費者と法律Ⅰ
教員名	

①授業計画の達成度について

今年度は履修者が5倍増になり、それにともなって「民法Ⅰ」、「債権法」の未履修者および平行履修者が増えたため、昨年度に比べ民法の基本的な話が増えて進度が遅くなった点は否めない。その点は、身近な消費者問題を取り上げることで、理解および自分のためになるように心がけた。

②授業の進め方について

説明のわかりやすさ、聞き取りやすさ、理解度を確認しながらの授業、私語対策はほぼ問題ないと考える。上記のように民法の基本的な話を絡めて消費者に関する法律問題などを話した。また、ネガティブオプション等、今日ニュースを賑わせている問題を取り上げて解説することで、身近な法律問題を考えさせるように心がけた。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

授業時間以外の学習活動が不十分である点は否めず、その点はもう少し力を入れるように指導したい。それ以外は概ね平均以上であり、本科目が後期の「消費者と法律　Ⅱ」につながる科目であることから、今後も身近な問題を取り上げ、楽しくためになる話をしてゆきたいと考える。

奈良学園大学